

科研費の適正な活用と研究倫理について

科研費の適正使用と倫理遵守

研究活動は、国民の貴重な税金によって支えられています。

研究活動にあたっては、科研費の適正かつ効率的な使用とともに、研究において不正行為を行わないことが強く求められています。



科研費制度を正しく理解しましょう

研究活動における適正な運営と活用のため、以下のパンフレットをご活用ください。

- 科研費ハンドブック(研究者用)
- 科研費パンフレット(2025年度版)
- 公的研究費の管理・監査のガイドライン(令和3年2月1日改正)



まずは確認!

研究資料等は**10年間**保存が必要です



- ◎ 実験・観察記録ノート
- ◎ 実験データ
- ◎ その他の研究資料 等については、**10年間**、適切に保存・管理していただく必要があります。

コンプライアンス・研究倫理eラーニング

年1回、全構成員が対象です(他機関で受講済の場合は除く)
『eL CORE』(日本学術振興会)を受講後、
修了証書を事務局までご提出ください。



科研費の適正な活用のため、
皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

慶友会吉田病院 臨床研究センター(K-LAB)
<https://www.keiyukai-group.com/yoshi-hp/k-lab/>

